

令和7年度茅ヶ崎市民文化祭俳句大会二部入賞者一覧表

R7/11/15

	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順位	特別賞														
																	瀧本顧問	塚島顧問	清水会長												
入賞辞退	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	入賞	茅ヶ崎俳句連盟	茅ヶ崎文化団体	協議会会長賞	三橋松童賞	賞	当季雑詠	句番	母の忌や黄瀬戸の鉢に衣被 夕焼けに染まれし色の左富士												
19	11	11	11	12	12	12	12	13	15	15	16	18	19	22	23																
5 14	4 7	4 7	5 6	12	1 11	4 8	1 11	5 8	6 9	5 10	16	5 13	6 13	8 14	9 14	総得点得点	105	60	9 67												
16 61	105 91	149 156	15 33	100	1 58	20 4	22	13	63	51	65 41	137	115	9 7	59	35 14	6 28	39 25	句番												
小春日や 秋思解くた つた二行の母 の文	秋日濃し時 が止まつたま 空家	爺ちゃんの畝 は昭和が似合 ふ赤蜻蛉	お前には五百 羅漢五百の顔 に小春かな	背を射ぬく猫 の飛び付くパン の耳	五百羅漢五百 の顔に小春か な	走り根や地 球の秋を掴み たる	小春日や白さ 眩しき足湯か な	千せばすぐ乾 く産着や赤と んぼ	錦なす女形の 科や散紅葉	笑ひ神来ませ 小春の一軒家	待ちわびてため 息ひとつ渡り鳥	小春日や同じ話 題で二度笑ひ	父母の庭も老 いたり返り花	白杖の歩を休 めたる小春か な	泣き笑ひ日々 の介護や秋逝 けり	衣被百歳まで 生くと言ひし妣	思ひ出を持ち 寄る生家小春 の日	七色の帽子の 干され園小春	盃二つ出して 一人の十三夜	不斷着のまま の父と子七五 三	駄菓子屋には みだす子供小 春かな	煮凝や嘘も本 音も琥珀色	嬰児の宙をつかむ手小春風	蔓引けば夕日 もろとも烏瓜	水切りの水よく 走る小春かな	受賞	賞	句	「小春」	「小春」	秋日濃し時が止 まつたまま空家
清水 吞舟	田中 幸子	杉山美代子	伊藤あつ子	能勢 仲子	沼宮内 薫	長堀 育甫	榎本 北斗	坂口 和代	粕谷 説子	岩田かつ子	山田 潤子	西岡 青波	大山 道子	日高 朝代	藤田真知子	氏名	受賞者氏名														
																田中 藤井 山田 田中	藤井 正直 潤子 明子														

